

各種調査の実施について

< 目次 >

1. 市民アンケート調査.....	2
2. 地区別意見交換会の開催.....	3
3. 主要施設利用者アンケート調査.....	5
4. 公共交通利用者アンケート調査.....	6
5. 民生委員アンケート調査.....	7

1. 市民アンケート調査

1-1 実施概要

15歳以上の市民2,000人（無作為抽出）を対象に、日常生活における移動実態や市域を運行する公共交通についてアンケートを実施し、計画査定に向けた基礎的データとして整理・分析を行う。

▼市民アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査対象	15歳以上の市民2,000人
調査時期	2023年8月下旬
調査方法	郵送配布・郵送回収（QRコードを活用した回収含む）

1-2 調査項目

▼市民アンケート調査項目（案）

調査項目	分析の視点
◆日常生活の外出状況 <ul style="list-style-type: none">目的別（通勤、通学、通院、買物等）の外出頻度、移動時間、移動手段、目的地拠点内における移動状況および公共交通サービスのニーズ	<ul style="list-style-type: none">市民の移動実態やニーズを把握し、現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせることで、移動実態やニーズとのズレや問題点を整理し、改善策を検討。拠点内の移動状況やニーズを把握し、拠点内の移動における公共交通サービスの必要性を検討
◆公共交通の利用状況 <ul style="list-style-type: none">公共交通の利用有無、利用している公共交通、利用時間帯、利用する理由、利用しない理由、利用における問題点自家用車利用から公共交通利用への転換可能性 ◆運行内容に対する満足度 <ul style="list-style-type: none">運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、乗継、バス停、情報提供 など公共交通に対する改善要望	<ul style="list-style-type: none">公共交通の利用状況・サービス満足度を把握し、運行内容の見直し検討に活用。公共交通を利用する理由、利用しない理由、公共交通利用への転換可能性を把握し、利用促進策の検討に活用。どのようなケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、公共交通サービスの役割分担を検討。
◆公共交通に対する意識 <ul style="list-style-type: none">各交通モードの接続に対する意識、交通結節点の待合環境新たな交通サービスの利用意向、利用頻度	<ul style="list-style-type: none">市民の乗換への意識を把握し、鉄道・路線バスの結節機能向上について検討。新たな公共交通サービスに対する利用意向および利用頻度を把握し、新たな公共交通サービス検討に活用。
◆基本属性 <ul style="list-style-type: none">年齢、性別、世帯構成、居住地、免許保有、自動車保有、スマートフォン保有、ICカード保有	<ul style="list-style-type: none">年齢や世帯構成は、高齢者や子育て世帯の集計時に活用居住地は、公共交通不便地域の集計時などに活用

2. 地区別意見交換会の開催

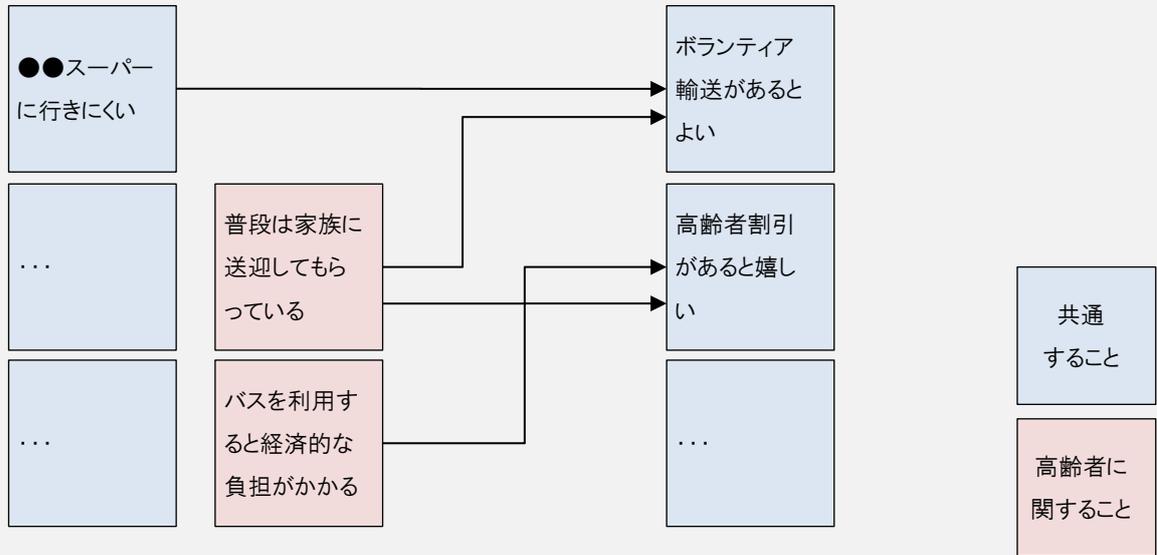
2-1 実施内容

地域住民の移動状況について、生の声を把握し、移動状況や問題点などの要因等を深掘り・整理するため、意見交換会を開催する。

対象者	地域住民 ※実施日時を広報紙及び町内回覧で告知し、参加自由とする
実施日時・会場	<p>【中央】 令和5年8月22日（火） 19:00～20:30 銚子市勤労コミュニティセンター（市役所東隣） 2階ホール</p> <p>【東部】 令和5年8月23日（水） 19:00～20:30 銚子市市民センター（銚子市小畑新町 7756 番地） ホール</p> <p>【西部】 令和5年8月24日（木） 19:00～20:30 東総地区クリーンセンター（銚子市野尻町 1678 番地 1）</p>
プログラム	<p>■開会（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から挨拶、趣旨説明（計画策定の背景や目的、地区別意見交換会の位置付け）、当日の流れの説明を行う。 <p>■各地区の現状報告（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況整理結果等から明らかになった人口分布、施設分布状況を共有する。想定される移動状況を説明する。 想定される問題点・課題を説明する。 <p>■公共交通に関する取組事例の紹介（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな公共交通サービスとして、本市への導入が考え得る取組を紹介する。 ※すべての事例が本市に導入されるものではないことを併せて説明する。 <p>【紹介する事例（候補）】</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー活用の取組 ボランティア輸送 デマンド交通 グリーンスローモビリティ 小型電動モビリティのシェアリングサービス 電動キックボード など <p>■意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 模造紙とポストイットを用いて、移動状況や困りごと、改善アイデアを整理する。 <p><自己紹介>（約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者の居住地区を踏まえ、班をつくる。班ごとに簡単な自己紹介をする。 <p><移動状況・困りごと、望ましい公共交通サービスについて>（約40分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内住民の「移動状況」「移動における困りごと」を挙げる。 ※可能であれば、“困りごとの原因”まで深掘り 挙げられた意見を踏まえ、公共交通の改善アイデアを検討する。 事例紹介を踏まえ、新しい公共交通サービスのアイデアも併せて検討する。 <p><意見交換結果の発表>（約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各班で結果発表を行う。 ※複数班ある場合
作成資料	<ul style="list-style-type: none"> 現況整理結果・現状マップ（人口メッシュ・バスルート・主要施設等を記載） 公共交通に関する取組事例紹介シート
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が発言しやすいよう、1グループの人数は7人前後とする。 資料中には専門用語の記載を避け、分かりやすい言葉を使用する。

移動状況・困りごと

改善に向けたアイデア



▲意見整理のイメージ

3. 主要施設利用者アンケート調査

3-1 実施概要

市内の主要施設の利用者を対象に、聞き取り調査を実施し、利用特性（施設までの交通手段、利用頻度）や移動する際に不便を感じることを把握し、整理・分析を行う。

▼主要施設利用者アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査対象	銚子市立病院、市役所、イオンモール銚子、市民センター、犬吠テラステラス
調査時期	2023年9月上旬～中旬頃
調査方法	聞き取りシートをもとに調査員による聞き取り調査

3-2 調査項目

表 主要施設利用者アンケート調査項目（案）

調査項目	調査により明らかにすること
◆施設利用者の移動実態 <ul style="list-style-type: none">・ 出発地・帰着地・ 施設の利用頻度、施設までの移動手段・ 同時に訪問する施設・ 来訪時間、帰宅時間・ 移動手段で困っていること など	<ul style="list-style-type: none">・ 施設利用者の移動実態や困りごとを把握し、生活や観光を支える公共交通サービスの検討に活用。
◆公共交通への意見・要望 <ul style="list-style-type: none">・ 利用の有無・ 公共交通を利用する理由、しない理由・ 公共交通に対する改善要望と改善後の利用意向・ 新たな公共交通サービスに対する利用意向および利用頻度・ 自家用車利用から公共交通利用への転換可能性・ 観光型 MaaS（EeeE 銚子）の利用状況 など	<ul style="list-style-type: none">・ 公共交通に対する利用者の意見や要望を把握し、利用者が求めている公共交通の運行内容を整理。・ 公共交通利用への転換可能性を把握することで、当該施設への公共交通サービスの必要性を整理。・ 観光型 MaaS の利用状況を把握し、今後の MaaS の取組の方向性検討に活用
◆回答者の基本属性 <ul style="list-style-type: none">・ 性別、年齢、職業、居住地（市内・市外）・ 運転免許の有無・ 自家用車の利用状況	<ul style="list-style-type: none">・ 年齢や世帯構成は、高齢者や子育て世帯の集計時に活用・ 居住地は、公共交通不便地域の集計時に活用

4. 公共交通利用者アンケート調査

4-1 実施概要

鉄道利用者および路線バス利用者の声を収集するため、銚子駅に調査員を配置し、鉄道利用者（JR・銚子電鉄）および路線バス利用者に調査票を配布する。回収は、郵送回収（QRコードを活用した回収含む）とする。

回収票数を増やすため、駅舎内留め置き（2週間程度）を実施する。

▼公共交通利用者アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査対象	鉄道利用者および路線バス利用者
調査時期	【調査票の配布】2023年9月12日（火）（調査票配布） 【調査票の留置き】8/22（火）～9/12（火）まで駅舎内留め置きを実施
調査方法	調査票配布（QRコード記載）、郵送回収（QRコードによるWEB回収を含む）

4-2 調査項目

表 公共交通利用者アンケート調査項目（案）

調査項目	調査により明らかにすること
◆公共交通利用者の移動実態 <ul style="list-style-type: none">外出先、外出目的、外出頻度、出発、帰宅時間銚子駅までの移動手段、駅からの移動手段利用している公共交通が無くなった場合の代替手段の有無その他の公共交通サービスの利用状況公共交通を利用する理由、便利な使い方公共交通利用で困っていること など	<ul style="list-style-type: none">移動実態や利用状況、困っていることなどを把握し、見直し検討に活用。代替手段の有無やその他の交通サービスの利用状況を把握し、公共交通サービス同士の役割分担の検討に活用。公共交通を利用する理由や便利な使い方を把握し、利用促進策の検討に活用する。
◆運行内容に対する満足度 <ul style="list-style-type: none">運賃、ダイヤ、交通モード間の接続状況、運行本数、運行時間帯、待合環境、停留所数、所要時間 など ◆公共交通への意見・要望 <ul style="list-style-type: none">公共交通に対する改善要望、新たな公共交通サービスに対する利用意向 など	<ul style="list-style-type: none">公共交通のサービス満足度や改善要望を把握し、運行内容の見直し検討に活用。
◆回答者の基本属性 <ul style="list-style-type: none">性別、年齢、職業、世帯構成、居住地（市内・市外）、運転免許の有無、自家用車の利用状況 など	<ul style="list-style-type: none">年齢や世帯構成は、高齢者や子育て世帯の集計時に活用居住地は、公共交通不便地域の集計時に活用

5. 民生委員アンケート調査

5-1 実施概要

高齢者や子育て世帯の移動状況や困りごとについて、「生の声」を把握している民生委員を対象としたアンケート調査を実施する。また、現段階で把握できていない施設送迎サービスや、訪問販売・訪問診療などの利用実態を詳細に把握する。

全委員（166名程度）を対象に調査し、郵送配布・郵送回収する。

▼民生委員アンケート調査概要（案）

	調査概要
調査対象	民生委員・児童委員（166名程度）
調査時期	2023年8月下旬
調査方法	郵送配布・郵送回収

5-2 調査項目

▼民生委員アンケート調査項目（案）

調査項目	分析の視点
◆担当地区の現状 <ul style="list-style-type: none">担当地区内の住民の移動状況（交通手段、満足度、交通弱者の有無等）担当地区内の高齢者および子育て世帯の移動状況（目的別交通手段）、移動に関する困りごと移動を支援するサービスの利用状況移動を要しない訪問形式のサービスの利用状況	<ul style="list-style-type: none">高齢者および子育て世帯の移動状況や困りごとを把握し、交通弱者に求められる公共交通サービスのあり方を検討。利用している移動支援サービスの有無を確認し、公共交通サービスとのすみ分けや連携方策を検討
◆回答者の属性 <ul style="list-style-type: none">氏名、担当地域	<ul style="list-style-type: none">地域別の集計に活用。